

環境共生生物学特論実験 (2単位)

担当者氏名 鈴木敏郎

◆学習・教育目標 (到達目標を記載)

特論で学んだ食品の安心と安全が実際の現場でどのように捉えられ実施されているか、消費者団体、食品企業、公的機関の訪問・視察をとおして学ぶ。また、実務者の説明を聞いた後、質疑応答を行い、関係者間の考え方の相違を総合的にまとめ、食の安心と安全に関して今後三者がどのように共生していくかについて考察していく。

◆取り扱う領域 (キーワードで記載)

食の安心と安全 _____

◆授業の進行等について

	テーマ	内容	授業のねらいまたは準備しておく事項
1	消費者団体の訪問 (1週-4週)	消費者団体を訪問し、食の安心と安全に対する考え方を把握する	実際の現場を訪問し、 現実に即した食の安心 と安全の共生の仕方を 総合的に模索する。
2	食品企業の訪問 (5週-8週)	食品企業を訪問し、食の安心と安全に対する考え方を把握する	
3	公的検査機関の訪問 (9週-12週)	公的検査機関を訪問し、食の安心と安全に対する考え方を把握する	
4	総合討論 (13週-15週)	訪問先の考え方を統合し、どのようにすれば3者間で共生が可能か検討する	

◆教科書及び資料 (授業前に読んでおくべき本・資料)

書名／著者／発行所 (発行年)

◆授業をより良く理解するために便利な参考書・資料等

書名／著者／発行所 (発行年)

◆評価の方法 (レポート・小テスト・試験・課題等のウェイト)

レポートにより評価する

◆その他受講上の注意事項

9月中旬に3~4日間の集中で開講予定